

保育おおさか

平成17年2月1日 第354号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

保育海外研修 アメリカ・フロリダ州

言葉違っていても… 心と心でコミュニケーション

第30回保育海外研修（団長／森田信司 若江保育園園長）は、1月14日（金）19日（水）の6日間、参加者33人でアメリカ・フロリダ州の「ハンドインハンドチャイルドエンリッチメントセンター」を視察した。寒さに見まわれたが、青空のもとで視察することができた。日本の遊びをとおしての子どもたちと参加者との笑顔いっぱい交流。そして、それぞれの保育環境を知ることができた活発な意見交換。参加者も積極的に学び、関わり、有意義な研修となった。

視察先の「ハンドインハンドチャイルドエンリッチメントセンター」は2エーカー（約2400坪）という広大な敷地に10000m²の平屋の園舎で、子どもたちの安全と衛生面を考えた檜の木屑で覆われたグラウンド、そして、園舎の前には緑の草原がどこまでも続く大きな広場、横には小川も流れ、日本では望むべくもない、全くうらやましい環境に建てられていた。

園舎に入ると「Welcome our new Japanese Friends!」とボードに書かれた温かいメッセージと、園長であるミセス・パットの優しい笑顔で迎えられた。園内は、各クラス、廊下を見てもまず目にとまる数多くの色鮮やかな教材壁画、絵本の豊富さが「明るい場所」を感じさせた。



檜の木のチップで覆われたグラウンド。州の法律で、木のチップ、砂、ジャリの中から選ぶようになっている。

笑顔いっぱい



折り紙をする子どもたちと参加者

各部屋から聞こえてくる子どもたちの声はどこへ行っても同じ。突然の訪問者に、中には驚き、泣いてしまったり、緊張して固まったり、まった子どもも見受けられましたが、それもまた日本と変わらなかった。

日本のお土産として折り紙と折り紙でつくった手裏剣、折り鶴、折り紙風船、びよんぴよんガエルなどをプレゼントし、子どもたちと一緒に遊び、交流の場をもつことができた。全身で相手の気持ちや伝えたいことを受けとめ理解しようとする、言葉が違ってもいい

Welcome
OUR NEW
JAPANESE Friends

園舎に入ると「Welcome our new Japanese Friends!」とボードに書かれた温かいメッセージを感じさせた。

視察日はマーチンルーサーキング記念日（祝日）で、通常よりも子どもたちの人数が少ないようだったが、

「あれが江ノ島」
はじめてみる小さい島に頭の中でサザンオールスターズの曲が聞こえてきた。右手を走るのは、江ノ電。左手には、きらりと輝く海。まるで稲村ジェーンの映画のワンシーンのよう。
道なりに進み、江ノ島に到着。と、猫・猫・猫。「江ノ島の猫は捨て猫です。命を大切に守りましょう。」の看板。猫を捨てに江ノ島までくる人がいるという。それにしても、よく太っている猫たち。ひなたぼっこをしたり、餌をねだったり、のんびりととても幸せそう。大好物の魚がたくさんあって、観光客が、適当に餌を与えてくれる。
もしかして、これってうちの息子？花火に、忘年会、新年会。スキーにドライブ。いつから大学が始まるかわかってるんだろうか。こんなところで、猫に感心している場合じゃない。帰ったらハッパかけない。でもきつと猫の耳じゃなくて馬の耳に念仏だろうな。
(Y・K)

学力低下には早期教育

言葉に参加者から苦笑いがおきる場面もあった。

どのクラスも一人ひとりを大切に個人の尊重がなされており、0歳クラスでは、

り組みがなされている。
現在、米国では特に3、4年生の読み書きの低レベル化が大きな問題で、フロリダ州政府は2005年8月よりボランタリー（自発的な）スクー



[Hand in hand child enrichment Center]

入りする。登園時間の記録
お迎えは書類でも管理し、
提出した人のみに子どもを
引渡す形をとっている。

人的配置の割合、州から
の補助金の問題、子どもの
しつけが保育園まかせになっ
ている現実、学力の低下な
ど、保育園のかかえる問題
は米国も日本も同じ。そし
て、一人ひとりの子どもの
最善の利益を考え、子育て
を支える責務も同じであっ
た。

寒さに見まわれたフロリ

「セントセリター」も例外ではなく、生徒数は約180人（スタッフ25人）に及び、ほとんどの子どもが週5日、1日9時間の利用である。広大な敷地面積を持つ

あった。園長からも日本のしつけのあり方はどのようなものか質問があり、日本の子どものイメージとして、「保育園でしつけする必要は全くないのでは？」との

一人ひとりの日課に合わせ生活し、昼寝をしている子、遊んでいる子、食事をしていいる子と様々であった。子どもの24時間の生活リズムを見とおし保育するのは当

ルという新しい施策をたてる方向にあり、「ハンドイン



「Hand in hand child enrichment Center」

も、新たな試みとして4歳児の朝の3時間、読み書き、音の出し方など早期教育を親の同意のもとで導入する。「能力試験では、80%できている子どもたちなのに、小学校3、4年生で学力低下するのは早期教育の必要性よりも、何か他に課題があるかもしれない」ません」という園長の言葉は感慨深かった。

その他、9・11のテロ事件以降、防犯対策には特に注

意し、各家族に電子キーパッドを用意し、暗証番号で出入りする。登園時間の記録、お迎えは書類でも管理し、提出した人のみに子どもを引渡す形をとっている。

人的配置の割合、州からの補助金の問題、子どもへのしつけが保育園まかせになっている現実、学力の低下など、保育園のかかえる問題は米国も日本も同じ。そして、一人ひとりの子どもの最善の利益を考え、子育てを支える責務も同じであった。

寒さに見まわれたフロリダの研修は温かい子どもたちの笑顔や園長（ミセス・バット）のおおらかな人柄に接することができ、楽しく有意義な時間を過ごす貴重な体験となった。

「ハンドイン ハンドチャイルド エンリッチメント センター」は空港に近い商業地域にもかかわらず静かで広々とした環境のなか、子どもの社会的ニーズ、情緒的ニーズ、物理的、知的ニーズの開発を目指し、地元でも教育的評価の高い保育園である。カリキュラム



バット園長を囲んで……ニコッ

たり前のことではあるが、大変難しい。家庭と場所が違つても普段とのリズムがあまり変わらないためか、それぞれ違うことをしていても落ち着いて過ごしていた。

給食は子どもたちが自分で食べられる分を自分でとるといふファミリースタイル。このスタイルは強制的に食べさせるわけではなく、嫌いな物でも少しずつ食べられる様に与える、といった一人ひとりに合わせた取

保育海外研修参加者名簿

若江保育園	旭ヶ丘学園	旭ヶ丘学園	旭ヶ丘学園	旭ヶ丘学園	池上わかば保育園	貝塚南保育園	ギンガ保育園	さつき保育園	さつき保育園	清水保育園	清水保育園	清水保育園	清水保育園	清水保育園	清水保育園	泉北若竹保育園	大仙保育園	たんぽぽ保育園
森田	藤原	岩本	勝元	長岡	守安	別府	山岡	和岡	角田	木田	出原	吉岡	藤原	中山	竹中	森田	藤原	中山
信司	栄里子	かおり	陽子	あゆみ	誉子	真由美	加奈	広海	了子	謹子	幸子	磨智子	信代	哉恵	哉恵	信司	栄里子	かおり
たんぽぽ保育園	干塚保育園	干塚保育園	ちとせ保育園	豊野保育園	寝屋川なかよし保育園	寝屋川なかよし保育園	古川	古川	マツガ保育園	マツガ保育園	マツガ保育園	まりも保育園	村野保育園	ゆめの子保育園	若宮保育園	若宮保育園	若宮保育園	若宮保育園
三角	阿部	芋谷	向井	森脇	青山	土井	大井	大井	武本	伊藤	新藤	幸居	河岡	伊西	竹本	伊西	河岡	竹本
知子	綾子	泉美	智佳	理佳	美由紀	貴代	潤子	佐知子	公美子	千絵	美子	真樹子	美佳	由佳	弥生	由佳	美佳	弥生

親と
「ともに」...

育児相談員フォローアップ研修会

育児相談「認定証」取得者のためのフォローアップ研修が1月13日（月）、ホ

ている。また、在宅家庭の親支援についても同様のことがいえる。

テルアウィーナ大阪で行われた。本年度2回目となる今回は、「保育所における子育て支援」をテーマに、

子どもにとって大事な親や家族について考えてみると、親とは、子どもとの関係があつてこそ、親になる。

1回目から引き続き大阪府立大学名誉教授の野澤正子先生にご講演いただいた。



正子先生

今、改めて本来の子育て支援、親支援とは何かということを考え直す時期にき



講師の野澤

講師の野澤正子先生

また、家族とは、人間関係の基礎を作り、自己形成の重要な基盤をなし、全てを受け入れ、安心して成長していく情緒発達の源である。そのため、問題の根源ともなるので、ケースを扱う時は、家族関係を見過ごすことはできない。

子どもの問題行動は、自己回復しようとする行動なので、子どもだけでなく、子どもを取り巻く環境（家

族関係、保育所等）を含めて読み取らなければ、心に届くような対応ができない。



事例検討をする受講生

保育所は、多くの家族が集うリビング的な機能を持ち、常に親たちが憩える場となるべきである。また、保育士は、子どもの痛みを感じ、同じ社会の構成メンバーとして、親の傍らにそつといるような姿勢でサポートしていくことが必要である。さらに、育児相談員は、ソーシャルワーカーとして研鑽を積み、子どもだけでなく親も一緒に許容し、抱

■子どもたちの食生活が問題になってから、かなりの時間が経過しましたが、相変わらず、子どもたちの生活習慣病は減る傾向を見せず、ますます悪化している現状です。

ら厚生労働省や文部科学省などが「食育・食育」と呼び始めたのです。

■そもそも、「食」と言う字は「人」という字の下に「良」と書くのです。

すなわち人を良くするも

食事の意味としては、おいしいものを夫婦で、あるいは親しい仲間たちと楽しく食べることが主目的のように思いますし、多くの人たちの食事に対する期待と効用はこんなものではないで

マンを食べるまでごちそうさんをしてはいけません」などと言って、子どもたちの精神的な健康を害し、良好なコミュニケーションを打ち壊してきたのです。

あることを、われわれは忘れてはなりません。

■とにかくにも、食事は楽しく、おいしく食べてもらわなければ、栄養も食育もあり得ないことですし、楽しくリラックスして食べ

務めとされる。また、この支援者を支えるシステムも必要となるので、保育所内でのチームワークが重要となる。(講演要旨)

のが「食」なのです。
そして、「食」は人の何

しょうか。
だからこそ、人々は宮中

いものでしょうか。世界的に見れば、ヒンズー教徒は

なければ、せっかくの栄養もシツカリと吸収されない

落語医者の保育うだうだ話

「食」は人を良くするもの

児童精神科医としては見逃すことはできません。

それに加えてインスタント食品やスナック菓子、清

涼飲料水の氾濫など、子どもたちを取り巻く食環境はますます商業主義に毒されてきています。

この事實は、子どもたちの将来を考えたとき、まことに重大な事態と言わねばなりません。

そのため、遅ればせなが

を良くするかと言えば①「人の肉体的な健康を良くする」ばかりでなく②「人の精神的な健康を良くする」③「人とのコミュニケーションを良くする」などの大切な働きがあるので。

わたしなどは、肉体的な健康を良くすることについて少しは気にしていますが、

の晩餐会から焼き鳥屋での打ち上げまで、リラックスしてお互いのコミュニケーションを深めるために、食事を利用してゐるのです。

■しかし、食の専門家といわれる人たちは、肉体的な健康を良くすることにこだわらずぎていました。

そのため保育園では「ピー

牛肉を食べません。イスラム教徒は豚肉を食べません。西欧人は納豆を食べません。もちろん、わたしだって、偏食をしない方がいいことは知っています。

ただ、それを正そうとして、食事の楽しさを奪い、給食に恐怖心や嫌悪感を感じさせては全くの逆効果で

て、その楽しさの中から食事に興味を持ち、食材に興味を持ち、栄養に興味を持ち、食事の大切さを知るようになるというのが順序というものです。

そこで、今回は、食事の楽しさやおいしさを教えるヒントについての話をしたいと思います。

(英)

サポートとしての根源に通じているように印象的だった。

保育所の行事も、保育士がすべてを行わず、親が参加するように支援することが、「子育て支援者」としての支援につながると改めて感じた研修となった。

(たちばな保育園 H・O)

$$\begin{array}{c} \text{H} \\ + \\ \text{O} \\ \text{---} \end{array}$$

ブロックだより

子どもの安全 考えよう

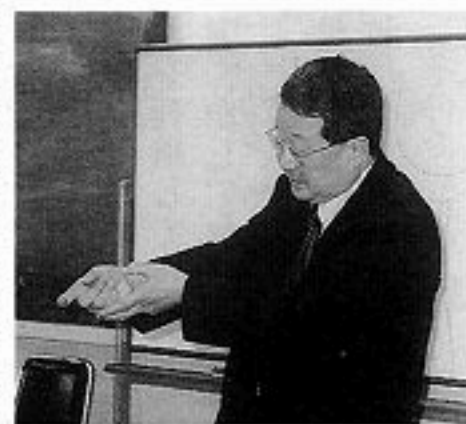
堺ブロック保育士研修会

堺ブロックでは、「保育園における安全管理」と題した研修が1月14日、保育

士会の主催でおこなった。講師は、兵庫県警OBで、現在、国立和歌山工業高等専門学校で松田雄治さん。

松田さんは、現代社会に

おいて「水と安全はタダ」といわれた時代は終わったと言われ、拳銃所持や少年非行が当たり前になってきている今日、昔のように交通安全に気をつけるだけでなく犯罪にも気をつけ、常に危険に囲まれているということを考えておかなければならぬと述べられた。



講師の松田雄治先生

また、子どもたちには「子ども110番の家」に飛び込むことを教え、話だけでなく、実際にロールプレイをやってみることも大切であり、地域の警察に頼めば、子ども向けの防犯教室も開催してくれると話された。

（保育園平和の園 N・S）

保育園をたずねて

324

河内長野市
おおさかちよだ保育園

南海高野線千代田駅から歩いて7分。千代田学園の奥に木々に囲まれたおおさかちよだ保育園がありました。

近づく子どもたちの元気な歓声が響いてきます。今年で創立3年目という若々しい保育園で、職員と保護者が一体となって、真に子どもが健やかに育つ保育園づくりにまい進されています。

保育室や園庭では子どもが自由にのびのびと遊んで



みんなで、ハイ、チーズ！

また、給食にも力を入れ、食べ残しのない「おいしい給食」が自慢ということでした。

子どもも保育士も学ぶ意欲が旺盛で、大阪千代田短期大学付属幼稚園や、近隣の保育園とも交流があり、貧欲に色々なことを吸収しているとのことでした。

これから子どもを中心に据えた保育園として着実に発展されていくことでしょう。

感動を与える 保育士に!!

岸和田市保育士研修会

岸和田市福祉総合センターで、11月27日・12月4日の

両土曜日の午後、保育士会の武内茂子会長を講師に迎え、保育士研修会を開催しました。

これは、岸和田市内の保育園全職員が等しく勉強できるようなとの配慮から、「時代に求められる保育士像」をテーマとし、同じ内容の研修を2回実施したものです。

①保育をめぐる国の動向、②総合施設構想、③社会福祉の専門職としての保育士、

遠足や散歩のときも一般の人が多く通る場所を選ぶなど、子どもが孤立しないように目を配ることが必要。防犯活動は一人ではできないので、地域や警察との連携が大切であると講演を締めくくられた。



あの人 掲載が始まったのは、実に昭和60年8月の第120号からだ。平成17年3月号は第355号を数えることになるから、どれだけの期間執筆いただいたか、保育現場に役立つ記事や、時にはユーモアで気持ちにゆとりが持てる記事など、自在に筆を進めて頂いた。私同様、来月はどんなお話だろうかと期待した人も少なくなかったのではと思う。（次号へつづく）



講師の武内茂子先生

の三本柱について、分かりやすい言葉で簡潔に教えていただきました。

③では、専門職としての様々な責務や自覚を、個々が持ち、協力体制をとっていくことの重要性を話された。また、「人が人を育てる」という含蓄のある言葉や、私たちができる身近な子育て支援の実例を、体験をもとに話され、認識を新

（星光保育園 M・M）

発行所
大阪府社会福祉協議会
保育部 TEL 6762-9001
高岡 勝
水 崎